【今月の重点献立】

7月7日　「七夕」

7月7日は、「七夕」です。みなさんは、どんなお願いごとをしますか？

さて、七夕という行事はどうして行われるようになったか知っていますか？

あの“ひこぼし”と“おりひめ”の話は、どのようにして日本に伝わってきたのでしょうか。

ここで、少し紹介したいと思います。

☆ **七夕の由来**　奈良時代に、中国の“おりひめ”と“ひこぼし”の伝説が日本に伝わりました。天帝の怒りにふれたおりひめとひこぼしが年に一度、7月7日の夜にのみ逢えるというロマンチックな伝説は、とても日本人に好まれたと言われています。

これに日本古来からある棚機女の信仰や、農耕行事、仏教の盆行事などが入り混じって今日のような行事になりました。

☆ **七夕ソーメン**

→　おりひめとひこぼしは、7月7日に天の川に羽を広げる「かささぎ」のおかげで天の川を渡って会うことができると言われています。このため、そうめんを天の川に見立て七夕に供えました。奈良時代に唐菓子として伝来したそうめんは、平安時代には宮中の儀式、七夕のお供え物として用いられました。貴族も庶民も七夕になると「疫除けのおまじない」としてめん類を食べていました。

給食センターでは、今日「七夕給食」を実施します。給食の汁ものは、お星様をイメージさせる、「星型のお餅」を使っています。かくれ星の人参もあるので探してみてくださいね！また、主菜には星型のコロッケ、デザートには星の形をしたゼリーを献立に加えました。

給食でも七夕気分を味わってもらえたらと思います。暑さも厳しくなってきます。しっかり食べて、夏バテ予防をしましょう！